

はっぽう

議会だより

新年度採用職員の皆さん
一緒に頑張りましょう！



3月
定例会

- 6年度予算決定 議会は予算をどう見たか…… 2ページ～
- 3月定例会ダイジェスト …………… 7ページ～
- 一般質問
議員が町政の状況や方針について質問…… 10ページ～

起こす
継ぐ

町の産業を担う
若手経営者たち

第8回

貸し切りコテージ
CRANDS(クランズ)

オーナー ^{すずき} 鈴木 ^{りょう} 了さん

八森地区椿台に2018年7月にCRANDS(クランズ)をオープンしたオーナーの鈴木了さんにお話を伺いました。

高校卒業後、住宅に関する建築を学ぶため大阪府にある大学に進学し、卒業後に関東のハウスメーカーに5年弱勤務。結婚と子どもの誕生を機に2016年に八峰町へ地域おこし協力隊としてUターン。協力隊としては空き家活用、移住のPR活動を2018年まで務めました。

その後、独立しCRANDSをオープン。オープンまでは周りに貸し切りコテージが少なく、宿泊や予約システムの仕組みや料金設定など手探りで始めたのが大変だったそうです。

オープン後はお客様の要望やどんなお客様が宿泊するかを見ながら、設備の更新や料金の変更を行い、集客のためにSNSで情報発信し認知度も徐々に高まってきています。

主な利用者は県内の方が9割ほどで、「1年目は年間約170組が宿泊し、現在は約200組と年々増えている。2020年以降は新型コロナの影響で県外客のキャンセルも相次いだ。県内の利用者の口コミやリピーターのおかげで秋田県の方々に定着してきた。」と6年目でやっと軌道に乗ってきたと語ってくれた了さん。

CRANDS以外にも、「食堂どはち」のメンバーとしても頑張っており、個人では現在、旧湯っこランドを改修し、「サウナカフェumikko(うみっこ)」として今年4月中のオープンを目指しています。

湯っこランド閉館・解体の話聞き、数少ない

CRANDSは「大人の秘密基地」がコンセプト



海が見える施設で八峰町の強みがある場所だと思い、「地域の方々に気軽に訪れていただけるような利用料金にして、銭湯のサウナ版のようなイメージで、サウナで気分転換して広々とした空間のカフェでゆっくりくつろいだり、友人同士で語り合ったりと普段の生活の一部になるような施設にしていきたい。」と意気込みを語ってくれました。

(取材：伊藤一八)



町に
対して
観光にもっと力を入れていけば人の動きも多くなり経済効果も広がっていくと思う。地元観光業界の高齢化も進んでいる中、若い人が兼業でも観光業に取り組めるような環境づくりをしてほしい。

住所 〒018-2631
秋田県山本郡八峰町八森字椿台96-7
お問い合わせ <https://crands-akita.com>

● 議会広報編集委員会

委員長	山本 優人
副委員長	奈良 聡子
委員	伊藤 吉範
委員	笠原 一八
委員	藤原 八子
委員	見上 政子

新年度当初予算が原案どおり可決され、令和6年度がスタートしました。子ども達も進級・進学にと希望に胸を膨らませていることでしょうか。新年度予算は厳しい財政状況のもと、無駄を省き持続可能な町を目指す編成となりました。

昨年末、地域別推計人口で2050年の八峰町の人口が2,831人との発表があり、ショックを受けた町民の皆さまも少なくなかったのではないのでしょうか。

これを克服するには若い大人を増やし、産み育てやすい環境を作ることです。我々議員も持続可能な町を目指し努力してまいります。

(記 笠原 吉範)

編集
後記





(完成予想図)

広域一般廃棄物処理施設
(新ごみ処理施設)整備負担金

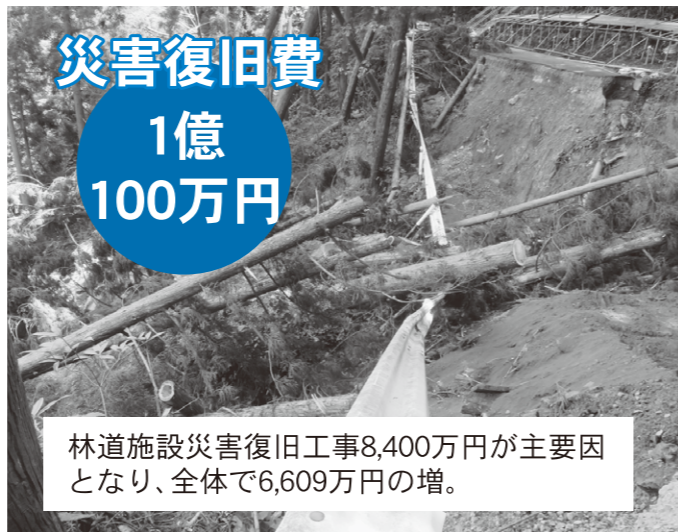
3億
1,208万円

能代市竹生地区に建設中の新しい一般廃棄物処理施設。広域(能代山本郡)の施設のため、八峰町も事業費を負担。



ハタハタ館整備事業
8,550万円

温泉設備の改修ほか、3階に個室・シャワー付きツインの宿泊施設を整備。



災害復旧費
1億
100万円

林道施設災害復旧工事8,400万円が主要因となり、全体で6,609万円の増。



带状疱疹ワクチン助成
60万円

対象年齢を65歳以上から50歳以上に拡大。



女性活躍推進事業
76万円

地域や職場で女性が個性と能力を発揮し活躍できる環境づくりを推進。講演会やワークショップを開催予定。

令和6年度 予算編成方針

今後、町の財政運営はさらに厳しくなると予想されることから、「前年の額を調整するのではなくゼロから予算を見直す」から数十%縮減するなどの基準を掲げて編成しました。その結果、昨年の豪雨災害復旧費や、一般廃棄物処理施設の負担金が大幅に増額となったものの、全体では前年度より300万円少ない予算となりました。そのうえで、急速な人口減少の抑制、若い大人を増やすための取り組みを推進してまいります。



堀内町長

令和6年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

仕事づくりのための産業振興

- 藻場再生調査業務委託 200万円
- 【新】栽培漁業定着強化費補助金(アワビ) 150万円
- つくり育てる漁業推進 310万円
- 生薬栽培 445万3千円
- 八峰町雇用創出活動支援 130万円
- 八峰町起業チャレンジ応援 30万円
- 広域連携雇用奨励金 100万円
- 資格取得支援 250万円
- 能代山本広域観光推進 517万7千円
- 【新】新規就農者育成総合対策(経営開始資金分) 525万円
- 半農半X等人材確保 203万7千円
- 農業推進コンシェルジュ(地域おこし協力隊) 1,268万8千円
- 人材確保対策業務委託 60万円

少子化対策

- 出会い応援事業費補助金 65万円
- チャイルドシート購入支援 5万円
- 育児助成金支給 147万8千円
- 妊婦・乳幼児健康診査 249万5千円
- 虫歯予防 125万2千円
- 母体健康増進支援 10万円
- 不妊治療費助成 30万円
- 赤ちゃん誕生祝金 100万円
- 0歳~高校生医療費無料 1,703万4千円
- 給食費助成(小・中学生の給食費半額) 1,358万6千円
- 保育料軽減(3歳未満児半額) 111万9千円
- 放課後児童健全育成 1,656万3千円
- 出産・子育て応援交付 120万円
- 子育て世代包括支援センター 28万9千円
- 教育ICT推進 2,848万3千円
- 外国語指導支援員配置 594万6千円
- 国際理解・交流 48万9千円
- 地域未来塾 219万8千円
- ジオパーク推進費 424万円
- コミュニティ・スクール推進費 218万9千円

人口減少社会への対応

- 巡回バス運行事業 3,792万4千円
- バス乗車券類購入支援 80万円
- 地域の元気づくり活動支援 20万円
- 交流促進事業費補助金 30万円
- ことぶき大学事業 159万4千円
- 【新】デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進CIO補佐官設置 624万4千円

定住・移住対策

- 定住促進用空き家改修事業 900万円
- 住まいづくり応援事業補助金 2,000万円
- 定住移住促進事業(地域おこし協力隊) 1,728万5千円

堀内町長の予算編成 議員はどう見たか

一般会計 64億4,900万円

新年度予算を 特別委員会で審査

町長から提出された令和6年度の予算案を、議員が構成する予算特別委員会において4日間 にわたり審査しました。

くらし・防災

問 「危険な空き家除去」の予算が500万円に減額となっているが、実績は。

答 5年度の補助実績は、25件で1、200万円超。今後、厳しい財政運営が想定されることを踏まえての減額。

問 海岸は県の管轄だが、昨年7月豪雨災害時の流木の状況を県は把握しているのか。

答 県に報告済み。

問 津波監視カメラの稼働状況は。

答 糠森と三沢の2カ所に設置していたが、落雷による度重なる故障で廃止。

問 地域おこし協力隊の費用対効果についてどう考えるか。

答 当町の隊員は定住率も高く、現役隊員も大変よく頑張っている。また、活動費や起業支援金は特別交付税の対象となる。（国から町へ交付される）

問 公債費のピークは。

答 一般廃棄物処理施設負担金が来年度5億6千万円。その償還が始まる令和10年頃がピーク。

問 公債費：自治体が行う借金である地方債の返済等に要する費用。元金と利子、手数料等も含まれる。

問 納税貯蓄組合連合会が解散予定だが、解散により収納率が落ちないか。

答 既に解散した自治体に確認したところ、口座振替などへの切り替えにより、極端に落ちているとのことだった。

福祉・子育て

問 老人クラブの環境美化などの活動に対し、柔軟に補助金を出せないか。

答 老人クラブへの補助金は、事務局である社協を通じて交付される。

問 社協に対し、地域に有益な事業に対しての補助に柔軟に対応するよう指導する。

問 生きがいデザイナー・ビジネス事業の廃止の経緯は。

答 利用者が4、5人程度と少くなり高齢であることから、介護保険対象と推測され、事業廃止とした。

問 妊婦（妊娠期）の孤独感を緩和し安心できる環境整備の必要性について。専門職の配置などの考えは。

答 子育て世代包括支援センターは、妊娠期・出産・成人まで、切れ目なく保健師が対応することになっている。マンパワー不足は否めない。

ないが、重要事項として取り組む。専門職の配置は難しい。

問 子育て支援センターの休止の経緯は。利用者が少なく休止することとした。

答 6年度からは各子ども園で行っている週1、2回の開放日に保健師を派遣する予定。個別相談は保健センターも活用する見込み。

農業・林業

問 地域計画推進事業の目標地図アンケート調査とは。

答 10年後の農地についての意向を農家へアンケート調査し、将来の農地利用の姿を明確化する「目標地図」の策定を行う。

問 農地の相続登記は進んでいるか。

答 毎月第2第4水曜日に相続登記無料相談会を開催しているが、能代山本地区では一番進んでいない。

問 非農地となった土地の面積は。

答 8月に農地パトロールを実施し、84件67、724㎡が非農地と判断された。

問 生薬の商標登録の内容は。

答 八峰町産生薬のブランド化を図るため商標登録を行う。当町の高品質な原料を他の産地と差別化するとともに、八峰町のPRに繋げたい。

問 半農半Xについて、働き手へのフォロアップは。

答 観光協会にフォロアップも含めて業務を委託している。地域おこし協力隊によるサポートも行っている。

道路・河川・水道

問 小釜沢川護岸整備工事が度々不調となっている原因は。

答 業者の人材不足（技術者や作業員の確保が困難）が原因。

問 令和4年度の小入川の災害箇所はどうなったか。

答 昨年7月の豪雨で増破したため、5年の災害として一体的に入札を実施したが不調となっている。令和6年度に予算措置し、復旧を図る。

問 水道水を水力発電に活用できないか。

答 飲料水が流れる本管に手を加えることは衛生的に問題がある。発電効力を考えても、規模が小さく採算が合わない。

教育・生涯学習

問 学校適正化検討委員会の予算が3回分となっているが少ないのでは。

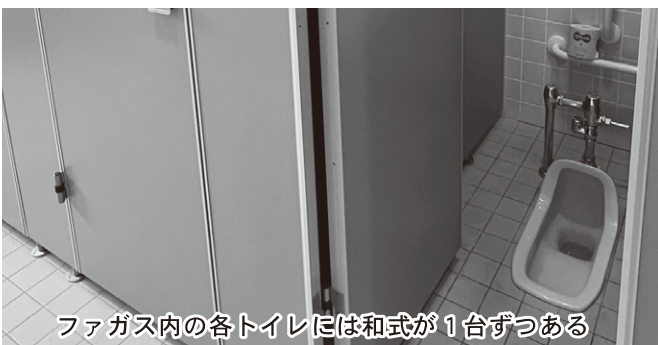
答 6年度に3回開催予定。さらに協議が必要になれば追加する。これまでの小・中学校の統合に至るまでの経緯をみると、適正化・再編化に約2年、その後の建設を含めた統合協議に約3年程の年数を要している。

問 ファガスの和式トイレや故障中のエレベーターについて、利用者から改善の要望は。

答 要望はない。施設からの統廃合や財政面から、現状での改修は難しい。



生薬となるカモミール畑（令和5年撮影）



ファガス内の各トイレには和式が1台ずつある



新年度予算の内容を担当課に確認。適正であるかチェックします。

3月

定例会ダイジェスト

新年度予算	補正予算	条例
8件	6件	15件
その他	工事契約	人事
5件	4件	8件

全46議案を可決・同意

3月定例会（3月1日～15日）では、新年度予算などを審議しました。

議案の内容

- 入浴料金を値上げする場合の上限額を、現在の500円から700円に変更。
- 値上げした場合の町民への優遇措置については検討する。
- 子ども入浴料金の対象を「小中学生」から「小学生」とし、中学生を一般料金とする。（4月1日から）

議会から町へ（質疑）

質問 物価高騰やエネルギー価格の高騰を利用料に転嫁するのは、ハタハタ館の町民の交流・福祉の場という役割に反するのでは。

議案の内容

かもめ団地の町営住宅10戸を、地域活性化住宅（次ページ参照）に移行。

これにより、町内の町営住宅は60戸となり、令和16年度にはすべて地域活性化住宅となる見込み。

議会から町へ（質疑）

質問 将来的に住宅を販売する考えはないか。町で管理する必要がなくなり、財源もできる。

答弁 現時点で計画は無いが、譲渡も一つの可能性と考える。

一般議案

令和6年4月から
町の組織編成を一部変更

新設

- 防災町民課 総務課から消防・防災・交通安全・環境衛生・戸籍・住民基本台帳・証明書の発行等の業務を移管。

変更

- 企画政策課 企画財政課から名称変更。
- 商工観光課 産業振興課から「漁業担当」を農林水産課に移管し、名称変更。
- 農林水産課 農林振興課から名称変更。（全員賛成で可決）

町営住宅を地域活性化住宅に

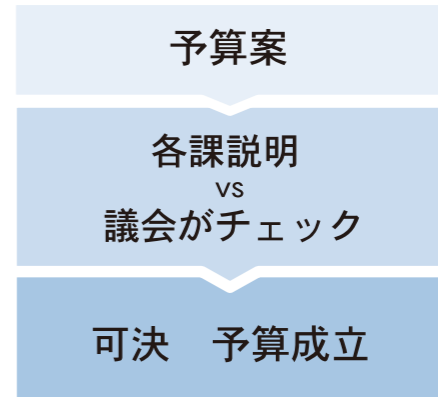
	現在の料金	改正後の料金
乳幼児（6歳未満）	0円	0円
小学生	200円	200円
中学生	200円	500円 （4月1日から）
一般	500円	500円 （700円までは値上げ可能）

答弁 物価高騰を利用料や商品価格に転嫁するのは一般的であり、第三セクターであるハタハタ館であっても、今後の入浴料の値上げは必要と考える。

質問 条例改正すること、すぐに入浴料金を値上げするのか。

答弁 近隣の温泉施設と協議した上で、値上げが必要と判断した場合は町の承認が必要となる。すぐに変更するわけではない。（賛成多数で可決）

議会は予算を
どうみたら
6年度予算案を議員が町民の代表としてチェック



菊地委員長

予算特別委員会で4日間にわたり審査し、すべての予算案を可決しました。そのうえで、3つの付帯意見を議会後に町へ提出しました。

新年度予算へ議会からの3つの意見

1. 健全な財政運営について

令和6年度予算においては、一般廃棄物処理施設整備事業等の負担増により町の借金となる町債が大きな伸びとなり、次年度も同様の状態が想定される。そのような中、過疎債には上限があり、他の有効な財源となる合併特例債の活用期限も令和7年度までとなっている。

予算編成にあたっては、将来を展望した計画的な行財政運営により、財政の健全化に努めること。



2. 公営企業会計について

これまで簡易水道事業会計及び下水道事業会計対しては、赤字分を上乗せして一般会計予算からの繰出しを行っていた。新年度予算ではそれをやめ、赤字額を明確にし水道事業に対する計画を立てたいとの説明がされた。

多額の赤字決算となるが、将来の水道事業の在り方について十分な検討・対策を求める。

3. 消波堤延伸について

令和6年度の予算に消波堤延伸の予算が計上されている。令和5年度の静穏域消波堤延伸に係る調査の結果ができて次第議会に報告すること。

賛否が分かれた新年度予算の採決

○：賛成 ●：反対

	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人	皆川鉄也	議決結果
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
介護保険特別会計	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
後期高齢者医療特別会計	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
沢目財産区特別会計	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○		可決

賛成

〔山本〕
ハタハタ館は出来てから数十年が経っており、魅力ある温泉施設になることで、町民の福祉増進にもつながる。
事業を行うことは町の財政負担が大きくなるが悩んだ末の予算措置であり賛成。

反対

〔見上〕
ハタハタ館の改修などに多額の予算が計上された一方、廃止・縮小された高齢者や子ども向けの事業がある。予算削減と効率化を求めるあまり、社会的弱者がはじかれているので反対。

質問 老朽化による住宅の状況は、**答弁** ボイラーなどの設備の修繕費もかさんでおり、住民からの問い合わせもある。財源をみながら必要があれば改修していきたい。

【地域活性化住宅】
町営住宅は公営住宅法に基づき建設されており、応募要件や家賃算定なども法に沿って設定しなければならぬ。
耐用年数30年を経過後、地域活性化住宅とする。耐年数30年を経過後は子育て世帯を優先する。家賃に所得制限を設けないなど柔軟な管理・設定が可能となる。

(賛成多数で可決)

補正予算

令和5年度 一般会計補正予算(第10号)		
補正前	今回補正額(減額)	合計
102億4,860万3千円	11億1,000万6千円	91億3,859万7千円

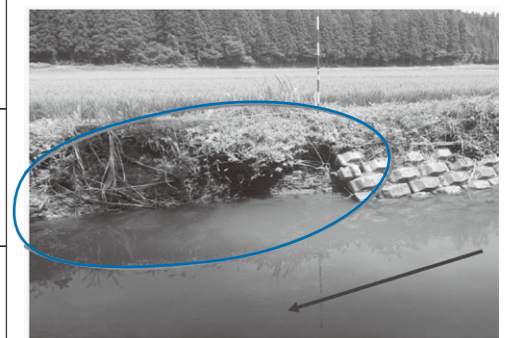
【補正予算の概要】
・実績見込みに基づく不用額を減額
・7月の豪雨災害復旧費の減額
・金谷信榮氏からの寄付金により図書・本棚購入 150万円
・若狭敏春氏からの寄付金により各学校音楽室にエアコン設置 422万円

議会から町へ(質疑)

質問 11億円もの減額が生じたのは、当初予算の検討が甘かったのでは。
答弁 災害の復旧費も大きい減額があった。それ以外では、光熱費については、令和4年度から1・5倍ほど値上がりすると見込んで予算措置したが、結果的に不用額となった。

工事

工事契約議案4件(内3件は契約変更)を全員賛成で可決。



夏井沢川の災害復旧工事箇所の一部

種類	工事名	契約金額	内容
新規	農地・農業用施設災害復旧工事 石川(寺立～熊沢出口)	5,054万円	石川地区農地からの土砂上げなど
契約変更	令和5年度発生災害復旧工事(1工区)	変更前 1億3,970万円 変更後 2億605万8,600円	農地に面しており復旧が急がれる夏井沢川護岸などの工区を増高
	旧八森小学校解体工事	変更前 6,974万円 変更後 8,135万8,200円	工事中に発覚した新たなアスベスト除去工の追加など
	欄干橋橋梁補修工事	変更前 6,774万2,400円 変更後 6,905万9,100円	橋梁修繕工や橋梁現場塗装工などで、現場精査した結果、数量に変更が生じたため

人事

- 教育長 鈴木 洋一氏
- 教育委員会委員 福士 保洋氏
- 固定資産評価審査委員会委員 佐藤 孝之氏
- 沢目財産区管理委員 田村 政彦氏
- 阿部 富廣氏
- 笠原 吉範氏
- 菅原 孝一氏
- 菅田 薫氏
- 小林 孝一氏

(全員賛成で同意)

陳情

○国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情
▼**賛成少数で不採択**。物価高騰による影響は医療や介護現場に限られたものではないとの**反対意見あり**。
○健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情
▼**趣旨採択(意見書の提出なし)**。保険証の存在については理解するが、マイナンバーカードの普及率も上がり、利便性もある。

- 学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、基礎定数改善による正規教員増を求める意見書提出についての陳情
▼**賛成少数で不採択**。精神的に重労働であると**賛成意見もあつたが**、スポ少や部活動が地域移行となり、子どもの数は減るのに対し教員数が増えることに疑問などの**反対意見あり**。
- 秋田県に対して「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げること」を求める意見書提出の陳情書
▼**賛成多数で採択**。子どもの医療費助成を高校卒業まで引き上げ、県が支援することは必要。
- 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
▼**賛成少数で不採択**。最低賃金1,500円は中小企業にとって大きな負担となる。
- 「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書
▼**全員賛成で採択**。あきたこまちの生産も継続できるようにすべき。

賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成
●：反対
欠：欠席

賛否が分かれた議案を掲載しています。その他の議案はすべて全員賛成で可決・採択されました。

	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地 薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人	皆川鉄也	議決結果
八峰町奨学基金条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
八峰町ハタハタ館条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○		可決
八峰町営住宅設置条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○		可決
国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●		不採択
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情(趣旨採択)	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		趣旨採択
学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、基礎定数改善による正規教員増を求める意見書提出についての陳情	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●		不採択
秋田県に対して「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げること」を求める意見書提出の陳情書	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	不採択	

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5名の議員が一般質問

一般質問では5名の議員が町政について質問しました。



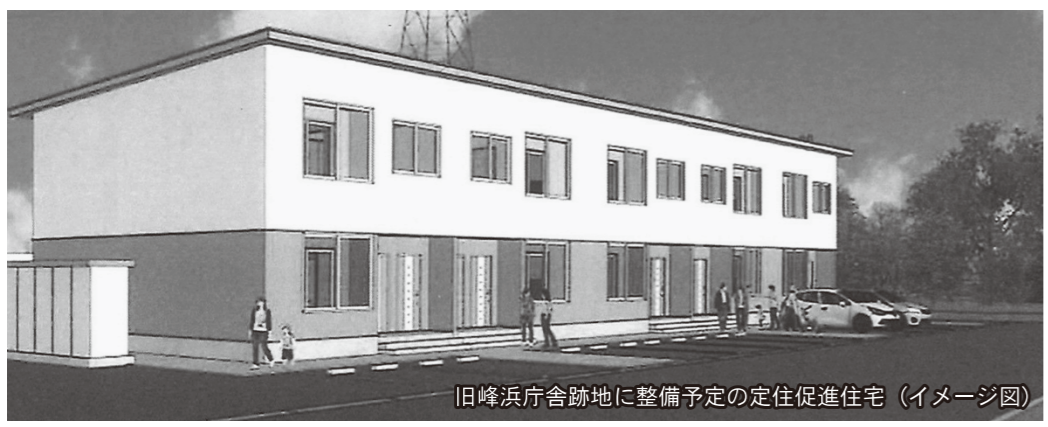
笠原 吉範 議員

笠原 昨年末、国立社会保障・人口問題研究所による2050年の地域別推計人口が公表され、八峰町は2,831人となっており、町民の間では驚きと落胆の声が広がっている。持続可能な町を目指す

当初予算における人口減少対策は

町長 第2期 創生総合戦略を推進

すには人口減少対策は急務であり、待ったなしの状況だ。6年度当初予算における具体的な人口減少対策は。



旧峰浜庁舎跡地に整備予定の定住促進住宅（イメージ図）

町長 現在は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進期間であり、当初予算においても本戦略の施策に基づいた予算編成とした。仕事づくりのための

産業振興では、菌床しいたけ産業推進体制強化事業や生葉栽培推進事業を進め、移住・定住対策では定住促進空き家改修事業や住まいづくり応援事業などを実施。

笠原 人口減少対策として整備した中浜地区中心部整備事業の申し込みがないのはPR不足では

少子化対策では子育て世帯負担軽減事業、人口減少社会への対応では、巡回バスやデマンド型乗合有償運送事業に取り組んでいく。また今年度は、旧峰浜庁舎跡地に賃貸住居を整備する定住促進住宅事業を進める。

町長 白神八峰商工会が令和4年に実施したアンケートでは、「後継者がいない」と答えた事業所は62%と聞いている。

笠原 継業とは、地域の生業を受け継ぎ、移住者ならではの視点で再活性化を図ることである。北秋田市では「継業について知るセミナー」が開催されるなど、人口減少対策として継業が注目されている。「八峰町継業バンク」を設立し、移住促進対策を。

町長 PR不足は否めない。ホームページ以外にも広報や公式LINEなどでPRに努めたい。

継業バンク設立を

町長 関係機関と連携し 検討

継業制度を促進するには、譲り手と受け手をスムーズにマッチングさせる仕組みづくりが重要。そのためには経営状況の開示や引き継ぎ期間の生活費・住居の確保など、様々な課題を解決する必要がある。まずは継業制度の周知を図ると共に課題の整理を行い、他地域の事例を参考にしながら商工会や金融機関などの関係団体と連携し検討を進める。

p11 笠原 吉範 議員

- 令和6年度当初予算における人口減少対策について
- 継業の促進について

p12 門脇 直樹 議員

- 冬期間（積雪時）における避難路の確保。マニュアルはあるのか。

p13 山本 優人 議員

- 防災に関する協定について
- 全庁的事務改善とDXの推進について

p14 奈良 聡子 議員

- 移住定住政策について
- 町のホームページ改善について

p15 見上 政子 議員

- 聴力検査と補聴器購入の補助
- 持続可能な自治会運営するには
- 津波・土砂災害の防災センター設置を

一般質問とは？ 町のさまざまな課題について、議員が住民の声や自身の考えを元に、提案も含めて町の方針を問うものです。



山本 優人 議員

山本 今後、役場を担う人が年々減少し町民のライフスタイルが変化する中、町民一人一人のニーズも多様化していく。それに対応した町事務処理がIT環境に変えていないほか、利用者たる町民への利便性の実感もな

い。DX推進の取り組みは。町も高齢化でありながらスマホの普及率は7割を超えていると感じる。スマホで入力して転送するだけで手続きが完了する環境の整備が町民サービスに繋がる。また各種申請書をダウンロードできる



ご登録はこちらから

お知らせ等を受信できる町のLINE

ホーム>友だち追加>QRコード or ID検索



@007wnacd



門脇 直樹 議員

除雪は困難では。高齢者や体の不自由な人たちへの避難マニュアルは。

町長 当町は日本海中部地震の被災地であり、このたびの能登半島沖地震を踏まえ、津波の恐ろしさを再認識した。町では、防災行政無線の整備・ハザードマップの作成・避難路の整備等に加え、防災訓練・防災講座などを毎年実施している。冬期間の災害は町でも懸念しており、積雪時の避難に支障が無いように必要に応じ自治会や地域の方に除雪の協力を求めている。

はこうした情報を活用して、個別避難計画を策定し、要支援者の「共助」について取り組みを進める。また、国・県・自治会との連携を強化し、これまで以上に災害に強い町づくりを努める。

町長 想定外をなくして避難を行うのが大事。あらゆる状況を想定し、冬場もしつかりと避難できる体制が非常に重要で、いつ来るかわからない災害にしっかりと対応できる準備をしていく。



階段の避難路

積雪時の避難対策は

町長 冬期間の避難訓練を働きかける

門脇 1月1日の能登半島沖地震は、1年で最もものんびりと過ごしていた時に発生し、甚大な被害をもたらした。八峰町でも昭和58年5月26日に日本海中部地震が発生し、今なお人々の心に深く刻まれた記憶

となっている。八峰町には、八森地区42カ所、峰浜地区1カ所の指定避難路が設置されている。そのうち階段は11カ所。冬場の降雪時に大津波警報が発令された場合、避難路は計画通り使用できるのか。平常通りの

また、冬期間の避難訓練についても自治会や自主防災組織等へ働きかけを行う。さらに、要支援者避難支援計画の情報を関係機関と共有しているほか、令和5年度には要支援者の位置情報を地図上に示すシステムを導入しており、今後

災害協定内容の共有状況は

町長 各協会事務局を通じ共有

山本 防災計画では、様々な対策が記載され各団体と締結しているが、災害時には協定先としての自治体や関係機関、そして民間企業との協力が不可欠である。協定している対象団体の協定数、その協定内容

は。また、連携している団体や組織と町との間で、連携内容が共有されているのか。

町長 「イオン東北株式会社」を含め、23件の災害協定と県及び市内25市町村、能代山本広域市町

村圏組合など、9件の連携協定を締結しており、この内容は各協会の事務局を通じて共有され、昨年7月の豪雨災害の際には水道施設の破損に伴う断水に対し、被災直後から大館市や能代市、八峰町建設業協会の連携があった。

おり、また年度の始めにその各連絡先などの取り交わし業務を滞りなく進めている。

町長 DX(*) 推進計画の策定にあたっては、全庁的・横断的な組織体制で取り組むことが重要であると考え、推進体制として「DX推進本部」や各課の一般職から選出した「DX推進会議」を設置する。

山本 町の公式LINEを使用すれば迅速に情報をアップして配信できる。宣伝するべき。

DX推進の取り組みは

町長 全庁的に取り組む

山本 今後、役場職員や地域

を担う人が年々減少し町民のライフスタイルが変化する中、町民一人一人のニーズも多様化していく。それに対応した町事務処理がIT環境に変えていないほか、利用者たる町民への利便性の実感もな

びるよう努力していきたい。

【DX(デジタルトランスフォーメーション)】自治体DXは、様々なデジタル技術の活用や蓄積されたデータにより、業務の効率化や行政サービスの改善を行い、住民によりよい社会を提供する取り組み。



奈良 聡子 議員

若者に選ばれる

環境整えよ

町長 儲かる漁業農業で

若い人増やす

奈良

人口減少に歯止めがかからず、地方と都会の格差は益々大きくなっている。若者に選ばれる町になるには、魅力ある仕事の有無が大きな鍵となる。リモートワークや自由な働き方を可能にする通信環境の整備や、クリエイティブ人材(*)を誘致す

る仕掛け、一定期間その地に住んで仕事をすすめるワークインレジデンス(*)のような取り組みが必要である。徳島県神山町の認定NPO法人グリーンパレーが提唱した「創造的過疎」の考え方を参考に、移住のターゲットを明確にして人口構成を変えていくべきで

はないか。

町長

海、山、農地の資源を生かし、儲かる漁業や農業に向けた取り組みを進めれば若い人たちは来てくれる。まずは基幹産業の一次産業に力を入れ、仕事を確保し、若い人を増やしたい。新たな移住・定住対策も必要であり、様々な可能性を検討する。

例えば、当町出身のアニメクリエイターで藤隆幸さんという方がいるが、トップセールスとしてサテライトオフィス開設を働きかけることなども必要ではないか。

奈良

後藤さんと

町長

は昨年11月に会っている。この繋がりを大事にしながら、オフィス開設の可能性があればお願いし、当町のPRも引き続き行っていく。

HP改善と

情報戦略構築を

町長 内容充実と

公式LINEにも注力

奈良

リニューアル後のホームページは、トップに基本情報が表示されず、情報に辿り着くのに時間がかかり使いづらくなった。昨年9月決算特別委員会で改善でき

ないか質問した際、検討するという回答だったがその後の経過は。基本情報は、トップに基本情報が表示されず、情報に辿り着くのに時間がかかり使いづらくなった。昨年9月決算特別委員会で改善でき

町長

ムは変更していないが、記事内容の作成等に用いる機能の修正や追加は行なっている。内容の充実と適切な情報発信に努める。

奈良

使い勝手が悪いこととの根底には、町の情報戦略が構築



八峰町ホームページのトップ画面

【クリエイティブ人材】
企画・デザイン等を通じて新しい価値を創造できる人
【インレジデンス】
一定期間ある場所に居住・滞在すること。またその支援

されていないことがあるのではないかと考える。

町長

情報戦略に特化した部署はなく、企画財政課の担当者が一手に引き受けてやっているのが現状。町公式LINEもあるのですが、登録者数を伸ばしリアルタイムの情報発信にもっと力を入れたい。

聴力検査と

補聴器購入の補助を

町長 国・県の動向を

見て判断

見上

難聴は年を重ねると誰にでも起こり得る症状で、孤立すると認知症に繋がると言われている。特定検診と後期高齢者検診の項目に65歳以上の聴力検査を考えないか。

町長

難聴は集団健診ではな

補聴器は高額であることから、障害者生活用具給付事業の町長が認めた者に実施できるという内容を拡大して、難聴者の補聴器購入制度の考えはないか。



難聴により、家庭内で孤立することもありえる

く、専門の医療機関を受診することが妥当である。補聴器購入制度は町の厳しい財政状況を踏まえると、現時点では難しいが、国・県の動向を注視して判断したい。

まえると、現時点では難しいが、国・県の動向を注視して判断したい。

と援助が必要と考えないか。

町長

地域のコミュニティ活動を維持し、暮らしやすいまちづくりを進めるためには、自治会の役割は大変重要である

と考える。

一方で、助成金の増額は、恒久的に町財政への負担増となるほか、自治会間の公平性を保つことも必要。県内市町村の取り組みを参考に慎重に検討したい。

防災センターの設置を

町長 既存の施設を

有効活用

見上

国道101号沿いの椿

方面から観海地区の道路は、津波、大雨、土砂が起きた場合、陸の孤島になる。山際の町の避難場所は土砂災害危険区域になつている。「津波にはここ」「土砂災害はここ」ではなく、土砂にも津波にも安全な防災センターの設置を考えないか。財政上難しいと思うが必要性は感じるか。

町長

必要性は感じるが、厳しい財政事情を踏まえると、事業化は難しい。既存の施設を有効活用し、自分の命は自らが守る「自助」と、近隣者が助け合う「共助」を基本とした、防災訓練や防災講座、自主防災組織の育成等、ソフト面の強化に努める。

自治会運営費の増額を

町長 公平性をみながら検討

見上

それぞれの自治会の運営方針に違いはあるが、運営が非常に厳しいと聞く。各自治会のコミ

ユニティセンターは10万円以下の小破が発生すると財源難になる。自治会を持続可能にするには思い切った支援

ユニティセンターは10万円以下の小破が発生すると財源難になる。自治会を持続可能にするには思い切った支援

ユニティセンターは10万円以下の小破が発生すると財源難になる。自治会を持続可能にするには思い切った支援



見上 政子 議員

6月議会定例会のお知らせ（予定）

6月12日(水)	本会議1日目 行政報告 議案審査ほか
6月13日(木)	本会議2日目 一般質問 ※休会の場合あり
6月14日(金)	本会議3日目 一般質問

●会場：役場2階 大会議室

※開会は10時からの予定です。終了時間は議案数、進行等によるため未定です。

※どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。

長年の功績を称え表彰されました



今年2月、芦崎議員が23年以上町村議会議員として尽力した功績を称えられ、秋田県町村議会議長会より表彰されました。

3月15日の本会議終了後、議場において表彰状および記念品の贈呈が行われました。

1年のスケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		3月定例会			6月定例会			9月定例会			12月定例会

このほか、必要に応じて臨時会が開かれます。

定例会の回数は地方自治法の規定により条例で年4回と決まっています。

八峰町議会は、3月6月9月12月の年4回、定例会を開催しています。この会期以外でも、議決が必要な案件が出た場合などは、臨時会が行われます。（令和5年は3回）

定例会で行うこと

議案の審議・議決

議案とは、議会の決定（議決）を必要とする重要な案件のことをいいます。

例えば町民サービスを行うために、予算・条例が必要になった場合、議案として議会に提出されます。

提出された議案はすべて議会でチェックしたのち、議決します。

議案は、議員も提案することができます。

一般質問

議員は、町の取り組みや課題などに対し、町民の声や議員自身の考えにより提言・質問することができます。

これに対し町長もしくは教育長が、町としての考え方・今後の取り組み方などを答えます。

町民の声や思いを住民サービスに反映させる重要な議会機能のひとつです。

陳情・請願

陳情とは、国や地方自治体などの機関に対して、実情を訴え必要な措置を要望するものです。

八峰町では、告示（開会日の3日前までに）の20日前までに陳情書が持参され要望内容を確認できた場合、定例会で審査を行います。

請願は、要望内容に賛同する議員の照会が必要となります。

予算・決算特別委員会

3月定例会に新年度予算、9月定例会に前年度決算の議案が町から提出されます。

議会では特別委員会を設置し、適切に予算が組まれているか、予算が執行されているかなどをチェックします。

議会は、町民の代表として住民サービスの執行機関である町をチェックする役割を持っています。議員は、議案に対して「質問」「討論」「内容の修正提議（修正議案）」などを行うことができます。賛成議員が少ない場合、その議案は否決（却下）されます。

定例会や臨時会以外のときの議員のしごと

議員で構成される委員会活動（この議会だよりも広報編集委員会で編集しています）のほか、能代山本地域市町村圏組合、老人ホーム組合、町村電算システム組合、国保運営委員会など、みなさんの生活に必要な団体の委員として会議に出席・協議を行ったりしています。

八峰町議会はデジタル・ペーパーレス化出来る？

最近、新聞やニュースでもよく目にする「ペーパーレス」や「デジタル化」。『日本は紙とハンコ文化』と言われていましたが、コロナ禍もひとつの契機となり、日々の生活でもスマホやパソコンで出来るものがぐっと増えた印象です。では八峰町議会の現状はどうでしょう？実は県内でも早い平成29年にタブレットを導入しています。



会議に必要な資料はタブレットで見るので、机の上に紙資料はありません。

この議会だよりの編集も、原稿の作成・提出、紙面のチェックまで紙は1枚も使っていません。（メールやパソコンも活用）



美郷町議会と能代議会がタブレット活用の視察に来庁



「今後の課題」タブレット導入は「ペーパーレス化だけで終わらせない」ことが大事だそうです。今後も議会運営の効率化などを目指し、タブレットの更なる活用を検討していきます。

- メリット（良い点）
- 全ての会議資料をタブレットで確認できる。メモすることも可能。
 - 議員が離れた場所に居ても、連絡や資料の送付がすぐできる。
 - 写真や地図などの資料をカラーで見られる。
 - 画面上で資料を拡大できる。&その他いろいろ

- デメリット（悪い点）
- どこまで使いこなせるかは個人差がある。
 - バッテリーが無くなる。と使えない。

議会の資料はおおむね100ページを超える「議案書」をはじめ、「議案の説明資料」「一般質問通告書」「予算書」などがあり、1回の議会だけで1,000ページ以上になることもあります。これがタブレットの導入で、紙資料はゼロになりました。

2月21日(水)開催され、3件の協議と1件の報告を受け付けました。今回は2件の協議と1件の報告の内容をピックアップして掲載します。

用語説明「全員協議会」
 町が新しい条例や制度、重要な施策を定める時、議会(本会議)に提出する前に議員全員に事前説明し、意見を求めるときなどに開催されます。

【協議1】
 ハタハタ館大規模改修

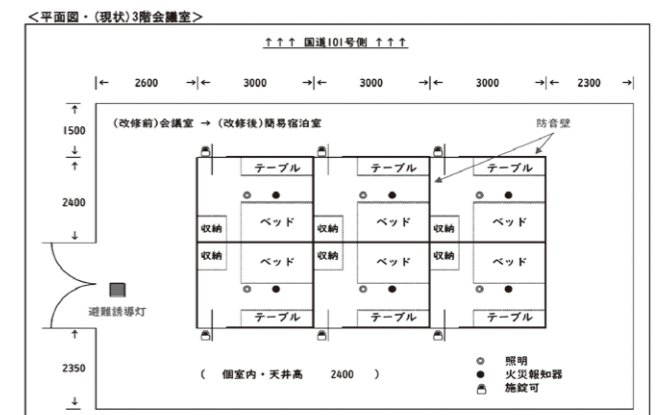
(1) 温泉設備の改修
 【温泉棟の長寿命化】



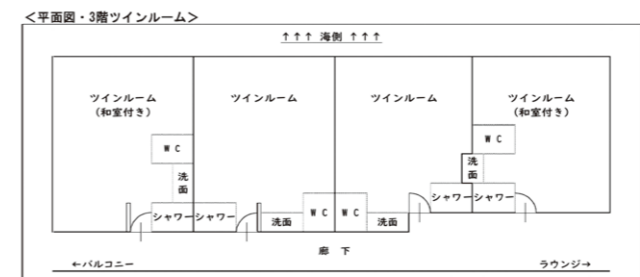
議員から町へ(質疑・意見)
質疑 近くの類似施設が入浴料値上げしてからの条例改正でもいいのでは。
答 条例改正は議会での議決が必要。値上げにすばやく対応できるようにしておくため。
質疑 確かに物価・エネルギー価格高騰しているが、値上げは慎重に検討するように。
答 毎日利用している町民に影響のないよう、回数券や年間パスの料金は据え置くなりたい。



(2) 3階の一部を簡易宿泊施設
 (シングルルーム)に改修



(3) 3階に現在ある宿泊室に
 シャワーユニットを設置



今月の表紙
 仕事始め式

4月1日、緊張の面持ちであいさつする新任職員の5名です。

【報告1】
 浜田地区に
 サーモン養殖施設

町からの説明
 浜田地区(泊川横)に日本サーモンファーム(株)の中間養殖施設の進出が決まった。

議員から町へ(質疑・意見)
質疑 この施設進出に対する町の支出は。
答 新たに町に工場等を設置する場合などに奨励金を交付する条例があり、申請があれば交付する。
質疑 株式会社八水で、この中間養殖事業を行うことはできないか。
答 ノウハウの構築や施設投資は現時点では難しいのではないかと。今後、成長して実施できるのであれば、やってもらいたい。

議会の傍聴ってどうやるの？

議会を傍聴できることは知っていても、どのようにするかイメージが湧かない人もいます。写真付きで説明します。

- 01** 役場2階大会議室の傍聴受付側の入り口からお入りください。
- 02** 机の上にある「傍聴人受付簿」に記入してください。
- 03** 議場後ろにある席にお座りください。

※会議中の入室、退室は自由です。会議中ドアは閉めますが、静かに開けて入ってください。
 ※会議中の私語はお控えください。
 ※議場内での飲食はお控えください。

町からの説明

(1) 平成18年の大規模改修工事から17年経過し、ろ過装置やポンプなど温泉設備の修繕費は年々増加している。合併特例債を活用し財源を確保しながら設備の修繕・改修を行う。

(2) 能代市山本郡内では、洋上風力や中国木材の進出などでビジネス利用が増加し、市内のホテルは満室の状態が続いている。安価で利用できる個室を整備し集客強化を図る。

(3) インバウンド向け宿泊施設は、部屋での入浴・シャワーが必須であり、問い合わせも増えている。すでに3階のツインルーム4部屋にシャワーユニットを設置する。

【協議2】
 ハタハタ館の入浴料など
 条例改正

町からの説明
 入浴料の増額により物価やエネルギー価格の上昇に対応する。
 中学生の入浴料200円を一般と同じ500円へ。休憩室の利用料を400円から500円とする。
 また、指定管理事業者が設定できる一般入浴料の上限額を500円から700円とする。実際に入浴料を引き上げるタイミングについては近隣の類似施設と協議してからとなる。